

2050年の社会が豊かで持続可能な社会であるために、私たちは地球環境への負荷を最小限にする挑戦を続けます。



今回のトピック



予防と対策を徹底し
環境リスクを最小化します

- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう

化学物質による人や地球環境への影響を低減することや、限りある水資源を大切にすることが求められています。私たちいすゞグループは、化学物質や水に関するリスクを最小化するため、さまざまな活動を行っています。

化学物質を管理する活動

使っている化学物質とこれから使う化学物質の調査と対応



自動車を作るためには接着剤や塗料などの化学物質を沢山使っています。化学物質の中には、人や地球環境に悪い影響を与えるものもあるので、自動車を作るための材料や、工場で使用している化学物質、新しく使う化学物質を調査して、有害なものになるべく使わないようにしています。こうした対応により、作る人、使う人、捨てる人、みんなが安全、安心な自動車が作られています。

水資源を大切に活動

藤沢工場 雨水を活用した工場の水使用量削減



自動車を作るためには水が必要です。限りある資源である水を無駄にしないため、藤沢工場では屋根に降る雨水を回収し、工場で利用する設備を自分たちで作りました。雨水に混ざっている落ち葉などを分けたり、ゲリラ豪雨にも対策できるような雨水回収設備を作ったことで、これまで地下からくみ上げていた、地下水の使用量を大量に減らすことが出来ました。雨も大切な自然からの恵みです。みんなで大切に使うことで、いすゞはもっと地球にやさしい工場を目指しています。

栃木工場 渡良瀬遊水地の保全活動



栃木工場の近くには、多くの絶滅危惧種も生息している「渡良瀬遊水地」という自然豊かな、日本最大の遊水地があります。渡良瀬遊水地は台風などの大雨で河川が氾濫し、洪水などが発生しないように、水をため込み、私たちの生活を守ってくれる大切なところです。緊急時に遊水地としての機能がきちんと果たせるように、また、豊かな自然が守られるように、いすゞも保全活動に参加し、定期的なゴミ拾いや外来種を抜く活動を行っています。